

47都道府県の第2期地方創生総合戦略の比較分析

静岡県立大学 経営情報学部

教授 小西敦

概要

本研究は、人口減少の歯止め等を目的とする「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律136号、以下「地方創生法」）に基づき、各都道府県が策定している都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」）の第2期版等を比較分析し、特徴的な取組を明らかにし、今後の総合戦略の改訂等に資する知見を得ようとするものである。

成果

2021年2月末までに、静岡県を含む全国47都道府県の総合戦略の第2期版等をインターネット及び全国市町村国際文化研修所（添付写真参照）図書室所蔵の文献等により独自調査し、その概要を比較対照できる整理表を作成した。47都道府県の総合戦略をその名称等に基づいて、「総計型」、「法定型」、「略記型」及び「工夫型」の4つの類型に分類した。また、全国の地方自治体が総合戦略の策定状況等を内閣官房に報告した原データについて、内閣官房に情報公開請求し、データの電子複製版を入手した。今後、このデータも活用し、上記の整理表の正確度を高めた上で、分析を行い、論文として公表する予定である。2年計画初年度の目標達成度としては、7割程度であると考えている。